

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和2年 3 月 16 日

地区名	小田切地区
事業名	「地域ふれあいの椅子整備事業」
団体名及び 代表者名	(団体名) サークルみんなのいっぽ (代表者名) 松本 清子 (連絡先) 026-234-6095

■事業概要

当地区の急速な高齢化は顕著で、膝や腰を罹患する方が多い実態である。各地区の会合やおしゃべりサロン等の集会場での集まりにおいて、座ることが困難な方々が気軽に参加できるよう高座椅子を配備し、対象者の苦痛の軽減を図る。量の公会堂での活動を支援し、住民同士の交流を深め福祉の向上に繋げる。	【総事業費】
	150,692円
	【補助金額】
	150,000円

【活動写真】



※資料等ある場合は添付する。

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

当小田切地域は、11地区から編成されており、公会堂や集会場は20か所以上にもなる。今回各区長から要望をとり、高座椅子の必要性を取りまとめた。多くの区は座ることが困難な方がおり、配備が可能ならば是非欲しいと回答を寄せられた。地域への貢献度は100パーセントであり、配備数が少なかったことが今後の課題だと感じた。8地区に合計10脚を配備した。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施			○	
事業の効果		○		
特記事項 (評価理由等)	当初の要望額の半額が支援決定のため、予定数量が半分になり残念だった。地区では必要箇所最優先で使っていた。			

■今後の取組予定

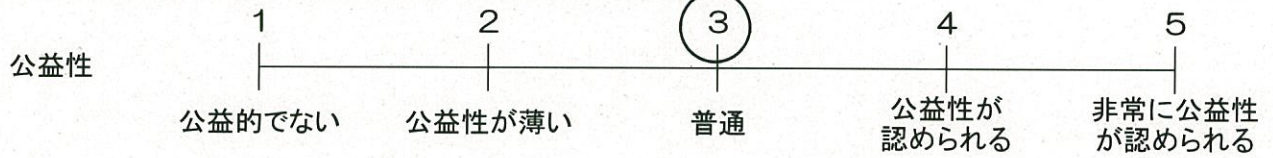
サークルみんなのいっぽでは、地域のニーズをくみ取り、高齢化する地域住民の和やかで健やかな生活支援に繋がる活動を実施する。今回の「ふれあいの椅子整備事業」については、数量の面で当初の予定を下回ったため、次年度へ要望していきたいと考えている。

支所発地域力向上支援金 事業評価 (小田切支所)

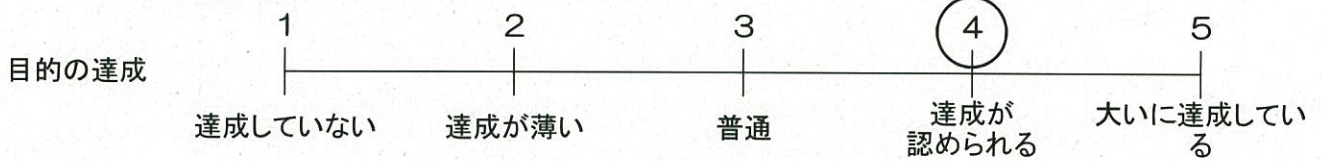
事業区分

評価項目

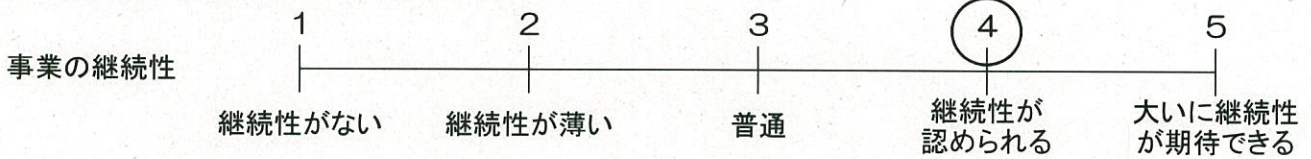
① 不特定多数者の利益また地域の利益につながる活動である



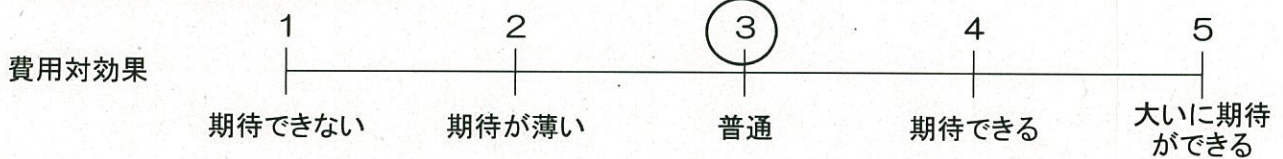
② 予定通り目的を達成している



③ 活動効果の継続性をどの程度期待できる



④ 費用に対して効果が期待できる



支所長の総合評価

本事業は、急速に高齢化が進む当地区において、膝や腰を罹患する方が多いという実態を踏まえて、地区の会合やおしゃべりサロン等で公会堂等での集まりにおいて、座ることが困難な方々が気楽に参加できるよう高座椅子を配備し、対象者の苦痛の軽減を図る事業で、本年度は、小田切地区11区のうち、8区に配備した。また、各区長からも配備が可能であればぜひ欲しいとの回答も寄せられている。これからも、地域のニーズをくみ取り、高齢化する地域住民の生活支援に繋げて欲しい。